

## 海外安全対策情報（2020年7月～9月：ナミビア）

### 1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

（1）当国は政治的に落ち着いており、これまでテロや特定外国人を標的とした誘拐は確認されておらず、アフリカの中では比較的安全と言われている。他方、首都ウィントフックでは、日中であつても路上強盗等の一般犯罪が頻発しており、邦人を含め、外国人観光客が少なからず被害にあつている。

（2）最新の犯罪統計（安全保障省統計：2014年～2016年）によれば、国内全体の刑法犯認知件数は年々増加の傾向にあるが、例年、認知刑法犯の種類に大きな変化はなく、年末は都市部の犯罪が地方へ分散する等パターン化している。月別の刑法犯認知件数については、1月の件数が最も少なく、2月～4月に増加し、5月～6月に減少、7月～9月に多少変動があるが横ばい、10月～年末にかけて増加、12月に最も多くなる。認知刑法犯の上位は、住居侵入、強盗、盗難、車上荒らし、暴行等が挙げられる。

（3）当国の失業率は、2014年の27.9%から2018年は33.4%と増加傾向にある。それに伴い若年層による金銭目的の一般犯罪が増加傾向にある。標的となりやすい物はカメラや携帯電話等の電子機器である。当地で発生した携帯電話の盗難被害件数は、2014年の4,446件から2016年の6,075件と27%増加している。

（4）安全・保安省が発表した最新の統計によると、2018年5月から7月にかけてナミビア全土で107件の武装強盗が発生しており、同期間に銃器の無許可所持が91件記録されている。当地の治安当局は年々増加する銃器の所持、盗難や持ち主の管理不十分による紛失に起因する、銃器関連の犯罪増加を懸念している。

### 2 外国人に対する犯罪の事例

（1）8月22日、13時頃、クライン・ウィントフックのアントン・ルボウスキー通りでタイ人が車上荒らしの被害にあつた。犯人は住居敷地内の車両から自転車（12,000 ナミビアドル（邦貨約78,000円）相当）を奪い去つた。

（2）8月30日、2時30分頃、クライン・ウィントフックのヤン・ヨンカー通りでインド人住居への侵入強盗事件が発生した。犯人は鉄格子を切断して住居に侵入し、住人をナイフで脅してノートパソコン、携帯電話、テレビ等を奪い、逃走した。

（3）9月1日、23時40分頃、クライン・ウィントフックのドクターテобен・グリラブ通りでアメリカ人の留守宅への侵入盗難事件が発生した。犯人はテント、ノートパソコン、

衣類等、合計 14,700 ナミビアドル（邦貨約 95,550 円）相当を持ち去った。

（４）９月１日、２３時４５分頃、ルードウィグスドーフ・ウイントフックのオルガ通りで、ドイツ人住居への侵入強盗事件が発生した。犯人は抵抗しようとした住人を殴り、テレビ、ノートパソコン、衣類、書類、現金、自動車等、合計 312,700 ナミビアドル（邦貨約 2,032,550 円）相当を奪い、逃走した。自動車についてはハバナの集落で回収された。

（５）９月２日、１４：３０頃、ウイントフックのランゲンホーヴェン通りでジンバブエ人の留守宅への侵入盗難事件が発生した。犯人はテレビ、周辺機器等 15,000 ナミビアドル（邦貨約 97,500 円）相当を持ち去った。

（６）９月１２日、８時頃、エロス・ウイントフックのエロスウェグ通りでドイツ人が所有する住居への侵入事件が発生した。犯人は盗品を運搬する車両を入手するためにその場を離れたが、その間に巡回に訪れた管理人が異常を発見し、警察に通報したため、被害はなかった。

### ３ 薬物・危険ドラッグについて

（１）ナミビアは、違法薬物や危険ドラッグ等がブラジルから南アフリカを経てアンゴラへ密輸される際の経由地として利用されている。

（２）２０１９年２月１１日、ナミビア警察広報担当官は、ナミビア警察・麻薬取締部が過去４か月間で違法薬物 9,500,000 ナミビアドル（邦貨約 61,750,000 円）相当を押収、４２３名を逮捕したと発表したうえで、「これまでナミビアは違法薬物の中継国と認知されていたが、もはや中継国でなく消費国である。」と述べている。

（３）当地ニューエラ紙は 2020 年 5 月 14 日付けの報道で、違法薬物を扱った罪で毎日逮捕者が出ていることを伝えているほか、2020 年 7 月 8 日付けの報道では、ナミビア警察広報担当官が、2020 年 6 月 1 日から 30 日に 2,000,000 ナミビアドル（邦貨約 13,000,000 円）を超える違法薬物を押収し、その過程で合計 108 名が逮捕されたと発表したことを伝えている。

（４）当地サン紙は、2020 年 10 月 7 日付けの報道で、2020 年 8 月から 9 月にかけて 1,280,000 ナミビアドル（邦貨 8,320,000 円）相当の麻薬が押収され、222 人の容疑者が逮捕されたことを伝えている。警察が提供した統計によると、今回逮捕された容疑者の大多数はナミビア人であり、また、ナミビア人が最も消費している薬物は大麻とのこと。ナミビア警察広報担当官は麻薬に関連する危険性について、国民への指導をし続けると述べている。

#### 4 交通事故

交通事故による死者数は年々増加の傾向にあり、2011年の492件から2016年の731件と5年間で33%増加している。交通事故発生主な原因は、スピード超過、不注意、無謀運転等である。2016年のデータによれば、横転事故が全体の交通事故の29%を占め、次いで追突事故が27%、歩行者との接触が23%となっている。直線で片側一車線という道路も事故の大きな要因のひとつである。大型幹線道路で高齢者や初心者、又は大型トラックが低速で走行していることに起因する無謀な追い越しも交通事故発生要因の一つである。旅行者が移動中、飲酒運転による信号無視を伴う無謀運転の事故に巻き込まれ死亡したケースも確認されており、信号が青でも、交差点に進入する際は左右の確認をする等、注意が必要である。最新の情報によれば、2019年の交通事故報告件数は3,398件、死者547人となっている。

#### 5 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

#### 6 誘拐・脅迫事件発生状況

外国人が被害者となった身代金目的の誘拐事件は認知していない。

#### 7 対日感情

ナミビア人の日本人に対する感情は良好。